

学生向けランチョンセミナー「水環境ビジネスガイダンス」報告

産官学協力委員会 いであ株式会社 宮本 信一
国立研究開発法人土木研究所 鈴木 裕 識

産官学協力委員会では、年会に合わせて、学生会員を対象に水環境に関わる仕事を紹介するランチョンセミナーを開催しています。第54回岩手年会では、通算で13回目となるランチョンセミナー「水環境ビジネスガイダンス～水環境の仕事に興味のある学生の皆さんへ～」を企画しました。本セミナーは、学生会員と団体会員の民間企業や公益団体の交流の場を提供するとともに、個別機関の宣伝ではなく、水環境ビジネスを紹介することによって、学生会員の皆さんが水環境の仕事に興味を持つきっかけになり、進路決定の参考にしてもらうことを目的にしています。そのため、具体的な仕事の内容や、やりがい、職場の雰囲気などを学生に伝えることに主眼を置いており、一般的な就職説明会のようなセミナーとは趣旨が大きく異なるものです。

民間企業については、業種をプラントエンジニアリング、コンサルティング、ゼネコン、化学品（膜を含む）製造・販売、そして装置・分析機器製造・販売の5つに分類し、各分野の仕事の特徴を企業の技術者に紹介いただいています。また、これまでの参加者アンケートによると、約1/4の学生は進路に公務員や大学・公的機関の研究職を希望していることから、第49回石川年会（2015年）より、これまでの民間企業に加えて官公庁の公益団体にもご登壇いただき、水環境ビジネスのすそ野の広さを理解する機会として好評を得ております。

講演では、所属する機関の事業概要や主要な顧客、主な担当業務と学生時代に学んだ専門分野との関連、そして業務に対する「やりがい」や「楽しさ」、「難しさ」などについて具体的に紹介いただいております。講師には企業や公益団体が伝えたい内容ではなく、学生が聞きたいと思う内容になるように配慮をお願いしています。できるだけ学生時代に近い考え方と社会に出た直後の体験と感覚について生の声を伝えていただくために、入社5年目

前後の若手職員に講師をお願いしています。

本セミナーでは、講演後に質疑応答の時間をできるだけ長く確保できるように努めており、毎年、学生と講師の間で活発な意見交換が行われています。近年、女性が結婚や出産をした後も継続的に働いていくために、働き方改革や女性の活躍推進、子育て支援等の社会的な取り組みが多くなされています。女子学生からは、産前産後休暇や育児休暇、その後の職場復職、そして育児をしながら働くためのテレワークや時短勤務などの導入事例について、具体的に講師に質問するケースが多く見られます。

今回の第54回岩手年会は残念ながら中止となり、本セミナーの開催は叶いませんでしたが、次の4名の講師の方々に講演をお願いして、準備を進めていました。

- ① 日立造船株式会社 金持淑恵 様
- ② 株式会社神鋼環境ソリューション 隅 晃彦 様
- ③ 株式会社東京設計事務所 福田紫瑞紀 様
- ④ 株式会社日水コン 鎌田 栞 様

（以上、発表を予定していた順）

これらの講師の皆さまには、年度末で業務がお忙しい中、多くの時間を割いて発表の準備をしていただきましたことを、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

最後に、本セミナーは年会の昼休みを利用して開催しており、協賛企業のご支援により、昼食を無料で提供しています。本セミナーは、団体会員の民間企業や公益団体の皆さまのご協力とご支援によって成り立っています。今後とも、本セミナーならびに産官学協力委員会の活動にご協力とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。本セミナーが学生会員の将来の進路決定に役立ち、多くの学生会員が水環境に関わる仕事に就くことを期待して、来年の第55回京都年会でも多くの学生の皆さまのご参加をお待ちしております。